

氷上西高校の『まちづくり活動』とは

- 丹波の地域課題を生徒が自ら考え、課題解決のため生徒がやりたいことを自ら企画し、地域の人々と協働して実際に形にする。
- 生徒の主体的で具体的な活動や地域の人々との関わりを通じて、学校の中の座学だけでは経験できない学びと成功体験を得る。

【総合的な探究の時間：探究Ⅰ・Ⅱ】



1学期、1年生は2年生が実行中のプロジェクトに参加して合同で活動。



地域で活躍する講師を招き、丹波の現状とまちづくり活動の意義を学ぶ。



1年生で地域課題解決のためのプロジェクトを自ら企画し、班に分かれる。



地域の人々に協力を要請、実際に地域に出て活動し、プロジェクトを実行する。



3学期、地域の方や大学教授を招き探究活動発表会を実施し、助言を得る。



2年生1学期、1年生にまちづくり活動を伝えながらプロジェクトを完成。

令和2年度プロジェクト

- ・廃校に子どもの遊び場所をつくる（おばけやしき&ゲーム）
- ・丹波の淡水生物の水族館をつくる
- ・YouTubeで丹波の魅力を発信
- ・青垣のマルシェイベント「サジイチ」にお菓子を出品
- ・丹波公共交通機関を増やすための活動
- ・FM805 たんばでレギュラー番組

【部活動：まちづくり部】



部員で活動を企画運営し、より主体的なまちづくり活動を担う部活動。



高校生や地域住民の居場所を自分でつくるプロジェクト「放課後カフェ」。



地域に必要なものを制作するクラフト班や、地域の情報発信をするYouTube班等。

まちづくり活動の成果・評価

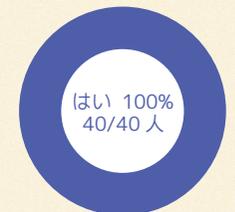
- コロナ禍でも年間70回以上、延べ400人以上の生徒が丹波各地で活動。
- まちづくり活動の経験を生かした進路選択、進実現をする生徒が増えている。



Q. 丹波の地域課題に具体的に行動して取り組めた？



Q. 何かをやり始める・継続する力は身に付いた？



Q. 自分たちでやりたいことを決める授業は必要？